

# 南山大学大学院 入学試験問題集

人間文化研究科  
言語科学専攻

2026年度・春季

NANZAN  
UNIVERSITY

## 目 次

### 《博士前期課程》

英文資料を基に解答する科目	1
〔国内在住外国人入学審査〕	3
専門領域に関する論述試験	5
小論文	6
〔社会人入学審査〕	6
〔国内在住外国人入学審査〕	7

2026年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2026年4月入学)  
2026年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2026年9月入学)  
<博士前期課程>一般入学試験

(2026年2月21日実施)

試験科目：英文資料を基に解答する科目

配点：50点

---

次の英文を読んで、後の設問に答えなさい。解答はすべて解答紙に記すこと。

著作権の関係により掲載しておりません

著作権の関係により掲載しておりません

(Adapted from Jiang, Nan & Dilin Liu. 2024. Lexicosemantic development, In: Ionin, Tania, Silvina Montrul, & Roumyana Slabakova (eds.) *The Routledge handbook of second language acquisition, morphosyntax, and semantics*, pp. 13–23. New York & London: Routledge.)

以下の設問に答えなさい。いずれの設問においても、単なる和訳ではなく、背景となっている英文資料の内容を理解した上での説明を求めていることに注意すること。

- 問1 下線部 (A) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問2 下線部 (B) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問3 下線部 (C) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問4 下線部 (D) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問5 下線部 (E) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。

2026年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2026年4月入学)

2026年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2026年9月入学)

<博士前期課程> 国内在住外国人入学審査

(2026年2月21日実施)

試験科目: 英文資料を基に解答する科目

配点: 50点

次の英文を読んで、後の設問に答えなさい。解答はすべて解答紙に記すこと。

著作権の関係により掲載しておりません

著作権の関係により掲載しておりません

(Adapted from Jiang, Nan & Dilin Liu. 2024. Lexicosemantic development, In: Ionin, Tania, Silvina Montrul, & Roumyana Slabakova (eds.) *The Routledge handbook of second language acquisition, morphosyntax, and semantics*, pp. 13–23. New York & London: Routledge.)

以下の設問に答えなさい。いずれの設問においても、単なる和訳ではなく、背景となっている英文資料の内容を理解した上での説明を求めていることに注意すること。

- 問1 下線部 (A) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問2 下線部 (B) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問3 下線部 (C) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問4 下線部 (D) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問5 下線部 (E) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。

**(問題紙)****用語問題**

次の用語(a)~(j)の中から3つを選んで、それぞれについて具体的に説明しなさい(4つ以上の用語について説明しないこと)。なお、説明は必ず解答紙に記すこと。また、(a)~(j)のどの用語を選択したかを解答紙にアルファベットで記すこと。

- (a) 祖語 (proto-language)
- (b) 接語・倚辞 (clitic)
- (c) 非対格動詞 (unaccusative verb)
- (d) やさしい日本語 (Easy Japanese)
- (e) ことばのものさし
- (f) 『日本大文典』 (Arte da Lingoa de Iapam)
- (g) 生教材 (authentic materials)
- (h) performance-based assessment
- (i) classroom English
- (j) structural syllabus

**論述問題**

次の(A)~(C)の中から1つを選んで、答えなさい(2つ以上の問題に答えないこと)。ただし、(C)については英語で解答しなさい。なお、解答は必ず解答紙に記すこと。また、(A)~(C)のどの問題を選択したかを解答紙にアルファベットで記すこと。

- (A) ある言語形式を「語」と認めるか否かの基準として考えられるものを2つ挙げ、それらについて、あなたが研究対象とする言語やあなたの母語を例にとって、説明しなさい。

List two criteria that can be considered for determining whether a linguistic form qualifies as a “word.” Explain these criteria using examples from the language you have studied or your first language(s).

- (B) 日本語を母語としない人に対する漢字教育について、あなたは異なる初習の学習者にどのようなコースを作り授業を行いますか。想定する学習者を2通り(任意：例 海外ルーツの小学生、工場で働く外国人、日本の大学で学ぶ留学生、日本人の外国人配偶者、など)挙げ、具体的に述べなさい。

Regarding *kanji* education for elementary level learners whose mother tongue is not Japanese, how would you design courses and conduct classes for different types of learners? Identify two different types of assumed learners (of your choice—for example, primary school children with foreign roots, foreign factory workers, international students studying at Japanese universities, spouses of Japanese people, etc.), and describe your approach concretely for each.

- (C) Compare fluency-focused activities and accuracy-focused activities, and explain why both are necessary in foreign language learning, discussing how teachers can balance them in the EFL classroom.

**(問題紙)**

次の問いに答えなさい。

第二言語習得研究においては、「正確さ (accuracy)」と「流暢さ (fluency)」のバランスが重要な論点の一つとされています。あなたは第二言語教育の実践者（あるいは実践者を目指す者）として、両者の関係をどのように捉え、どのような視点に基づいて指導を行うことが望ましいと考えますか。関連する教授法理論や研究知見ならびに自身の経験を踏まえ、学習者の口頭運用能力 (oral proficiency) の育成を前提に、具体例を挙げつつ論じなさい。

(問題紙)

次の問題に答えなさい。解答は解答紙に日本語で書きなさい。ただし、言語学または英語教育を主たる研究領域とする志願者は、英語で書いてもよろしい。

(Answer the following question. Write your answer in Japanese on the answer sheet. However, those applicants who wish to major in Linguistics or English Education may write in English, if they so choose.)

問題

第二言語習得においては、「正確さ (accuracy)」と「流暢さ (fluency)」のバランスが重要だとされています。あなたは第二言語の学習者として、両者の関係をどのように捉え、どのような視点に基づいて学習を進めていくのが望ましいと考えますか。自身の経験を踏まえつつ、具体例を挙げて意見を述べなさい。

(The balance between "accuracy" and "fluency" is considered important in second language acquisition. As a second language learner, how do you view the relationship between these two, and what perspective do you think is best for learning? State your opinion, using specific examples based on your own experience.)

**発行：南山大学 入学センター**

**名古屋市昭和区山里町 18 番地**

Phone : (052)832-3119

E-mail : [nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp](mailto:nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp)

U R L : <https://www.nanzan-u.ac.jp/>